

御高町新庁舎等整備事業

第1回 町民ワークショップ資料

令和7年7月27日(日) 13:30~
役場北庁舎3階 大会議室

本日のワークショップの進め方

13:30～ 企画提案内容の説明
(最優秀提案者より)

14:00～ 質疑応答

14:15～ テーブルワーク

14:50～ 本日のまとめ



1. DBO方式について

町ではこれまでに
基本構想(H30.7)、基本計画(R1.9) 策定
基本設計(R3.6)、実施設計(R4.5) を完了

新庁舎整備に向けた「基本的な考え方」は
整理されている



ベースとなる設計図書を生かしつつ、効率的な施設整備を図るため
本町では初の取り組みとなる「**DBO方式**」を採用し事業を実施



2. 最優秀提案者のご紹介

御嵩町新庁舎等整備事業プロポーザル評価委員会の審査において
「大和リースグループ」が最優秀提案者に決定

代表企業	大和リース(株) 岐阜営業所	統括企業
構成員	(株)環境デザイン研究所	設計企業
	(株)ほとり建築事務所	設計企業
	佐伯総合建設(株) 可児支店	建設企業
	昭和建物管理(株) 東濃支店	維持管理企業

提案金額(税込み) **5,357,000,000円**

3. 新庁舎コンセプト(目指す姿)

「町民の集いの場をつくる」_会所としての庁舎



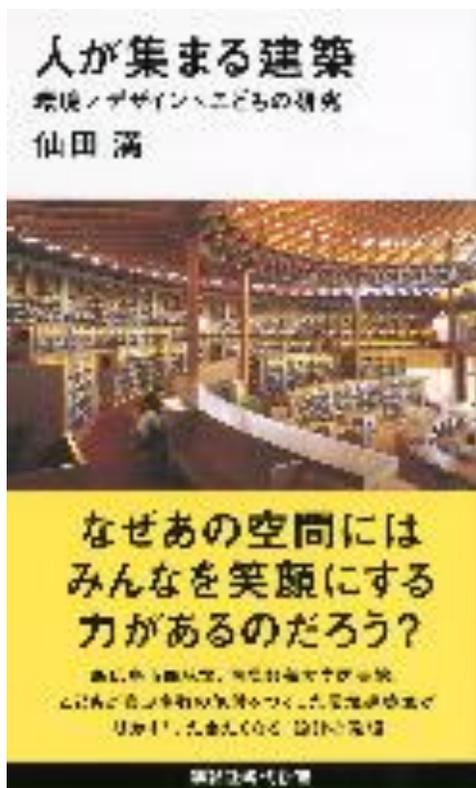
事業費を縮減し新庁舎基本理念、「日ごろから町民や職員が親しみを持って集い活用できる、やさしく、つよく、あたたかい庁舎」を実現する次の6つの提案をします

1. 町の象徴としての庁舎
2. 永く賢く使える庁舎
3. 安全で交流が生まれる庁舎
4. 町民も職員も使いやすい庁舎
5. ビジターセンターとしての庁舎
6. 災害に強く頼りになる庁舎

3. 新庁舎コンセプト(取組方針)

学術的エビデンスにもとづき人と町を元気にする庁舎をつくります

人が集まる建築



高い集客数を維持する『人が集まる建築』



T県環水公園 250万人/年

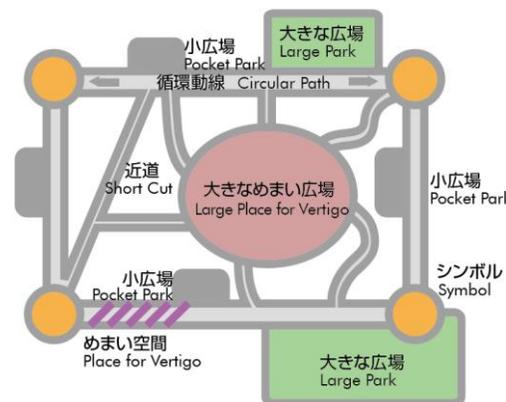


I県自然博物館 50万人/年



H市民球場 200万人/年

遊環構造を応用し町を元気にします



- ① 循環機能があること
- ② その循環（道）が安全で変化に富んでいること
- ③ その中にシンボル性の高い空間、場があること
- ④ その循環にめまいを体験できる部分があること
- ⑤ 近道（ショートカット）ができること
- ⑥ 循環に広場などが取り付いていること
- ⑦ 全体がポラスな空間で構成されていること

遊環構造のモデル図と7つの条件

3. 新庁舎コンセプト(取組方針)

御嵩の伝統を未来へつなぐ、町民の誇りとなる庁舎をつくります



南からの鳥瞰イメージ



南西側アプローチのイメージ



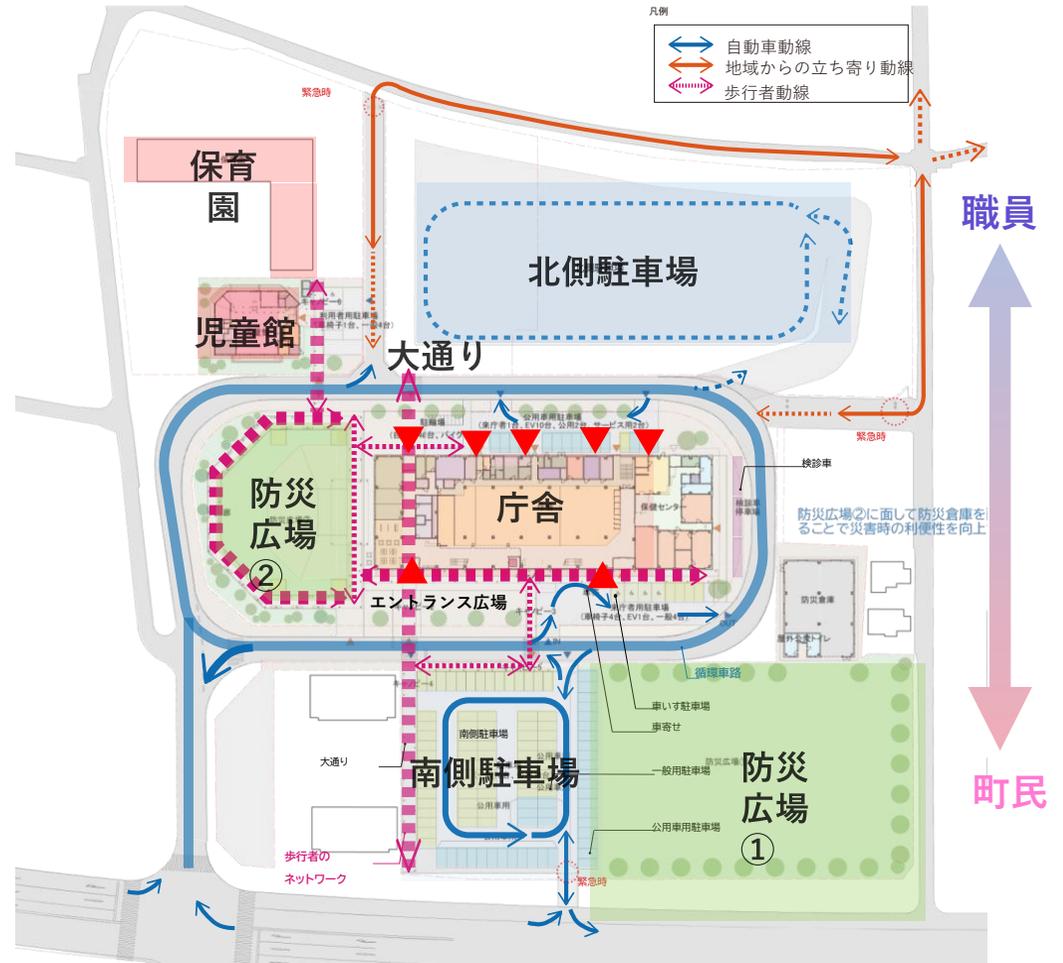
南側外観のイメージ

3. 新庁舎コンセプト(配置計画・動線計画)

町のにぎわいをつくるマスタープラン

6つのコンセプト

- 1 新しい町の中心軸をつくる
- 2 北側は職員、南側は町民のスペース
- 3 7つの入口と回廊のネットワーク
- 4 にぎわいをつくる3つの広場
- 5 楽しく無理なく散策できる回廊
- 6 将来の拡張性



3. 新庁舎コンセプト(建築計画)

対話によりプランニングを変更できる「型」の提案

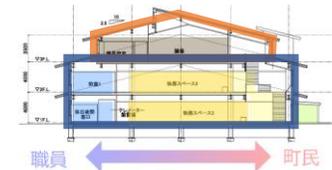
- 凡例
- ▶ 来庁者出入口
 - ▶ 保健センター出入口
 - ▶ 職員/管理者出入口
 - ▶ 夜間出入口

閉庁時の区分

議場

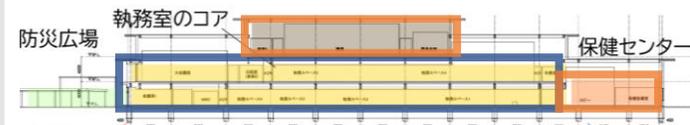
庁舎の基本機能：2層のコア

保健センター

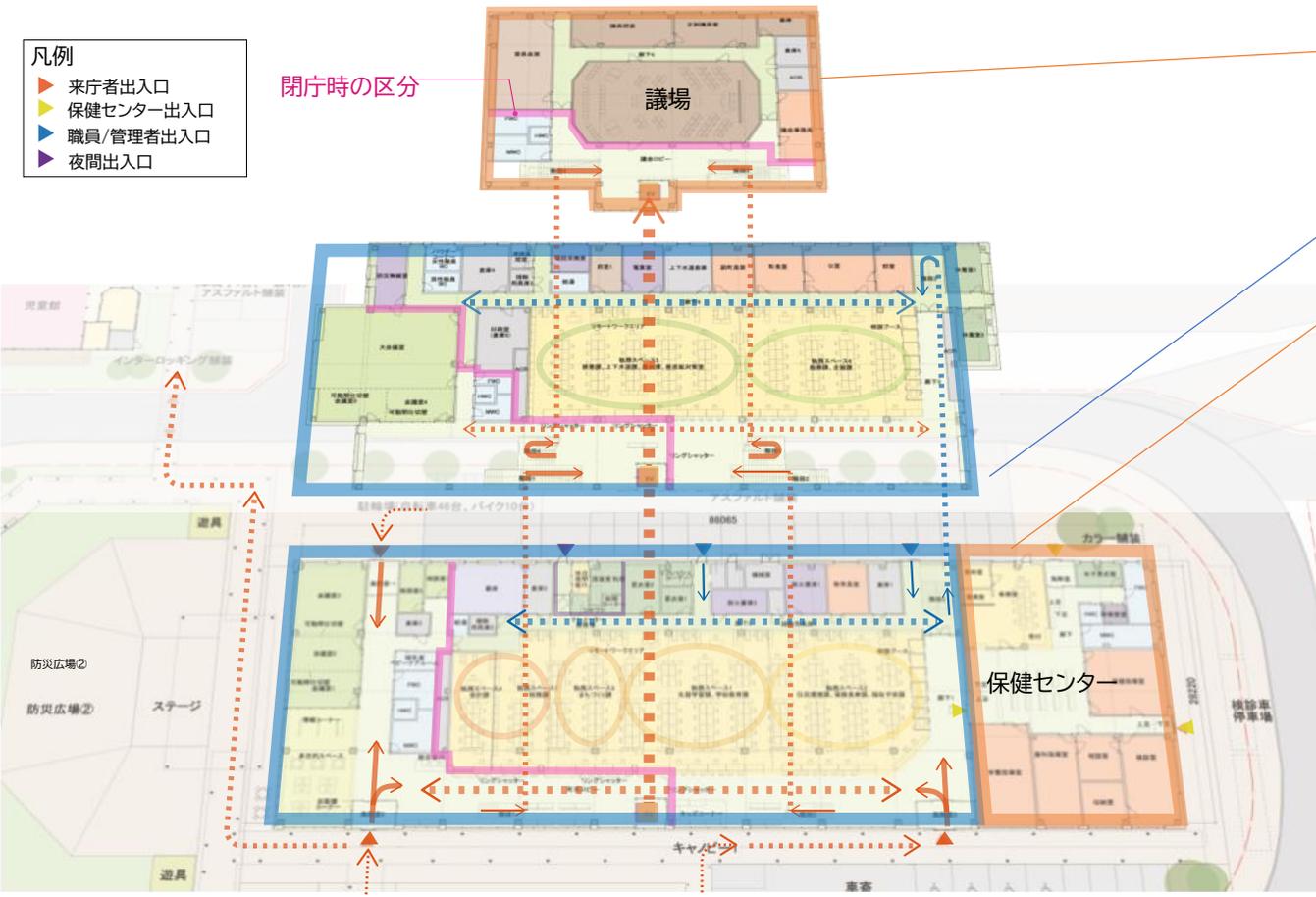


3階:議会のフロア
2階:生活を守るフロア
1階:町民サービスのフロア

3層構成による、コンパクトな庁舎



執務スペースの2層のコアと議場と保健センター



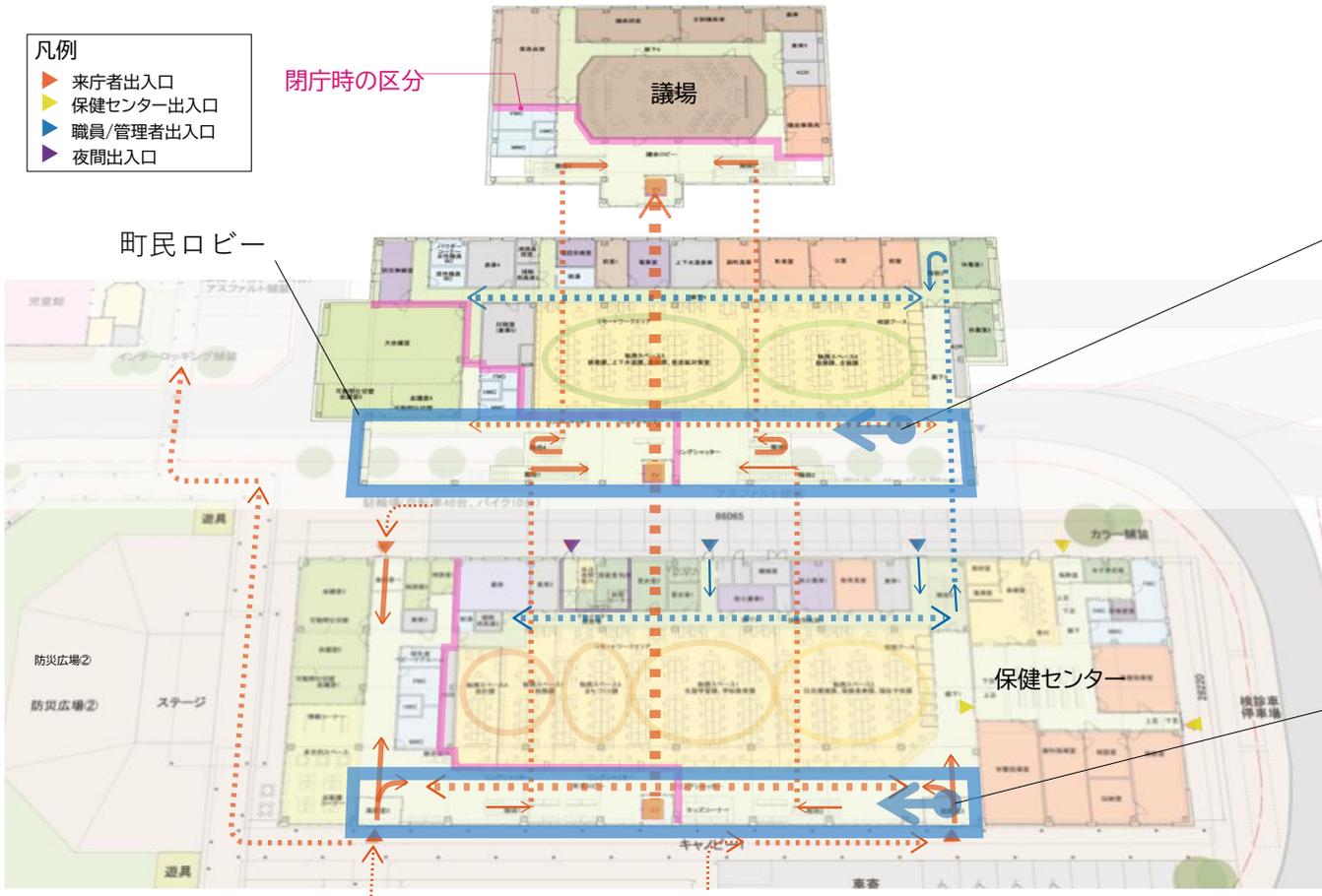
3. 新庁舎コンセプト(建築計画)

議場を2階東側に移動した庁舎のイメージ



3. 新庁舎コンセプト(建築計画)

目次空間としての段状の吹き抜け空間「町民ロビー」



2階から町民ロビーを見渡す



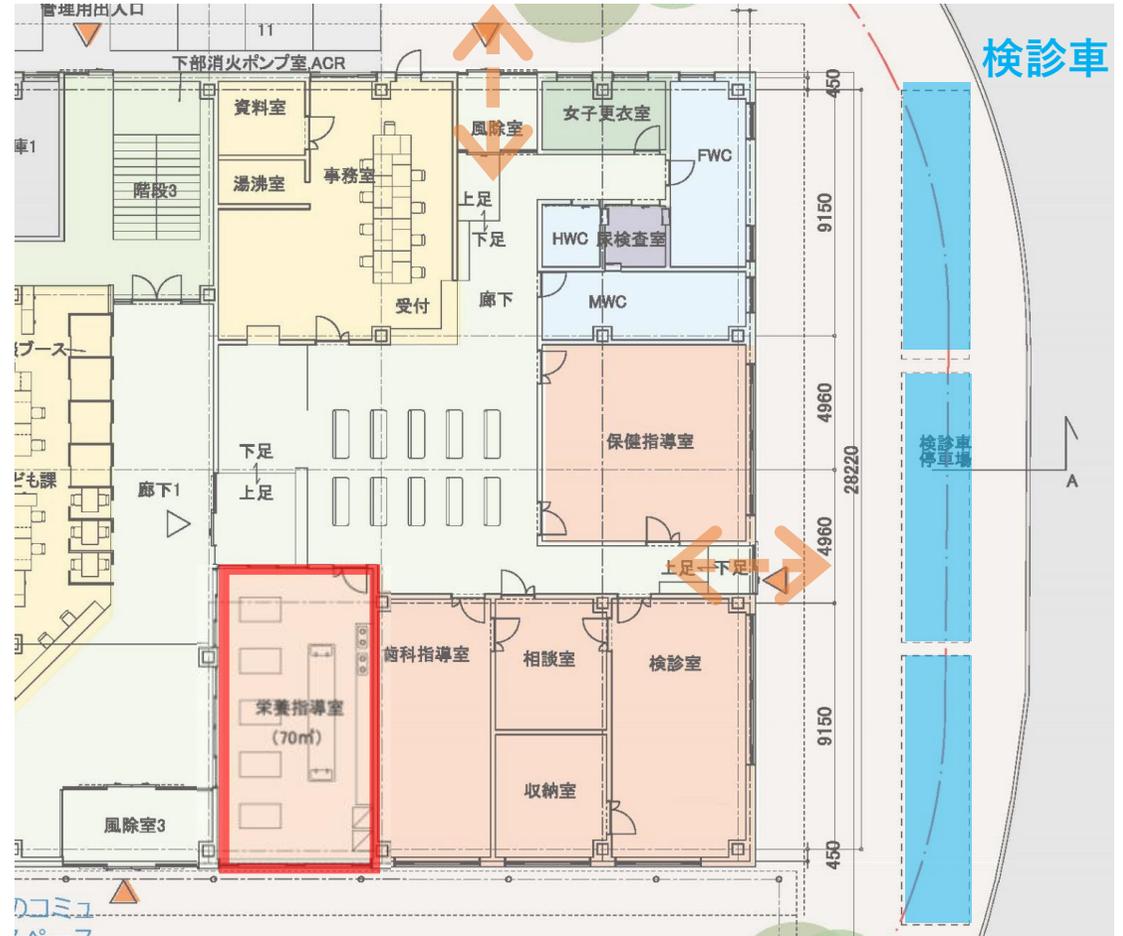
南西エントランスから町民ロビーを見渡す

3. 新庁舎コンセプト(建築計画)

独立して利用できる保健センター

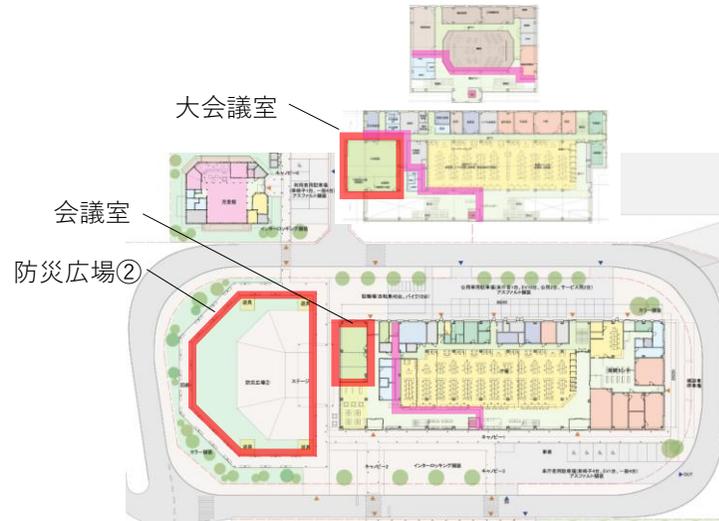


町のキッチンとして利用できる栄養指導室



3. 新庁舎コンセプト(建築計画)

町民も使える会議室の提案



大会議室の町民利用



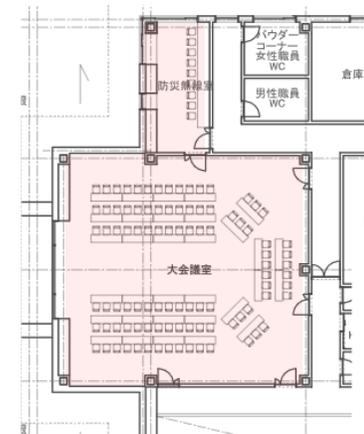
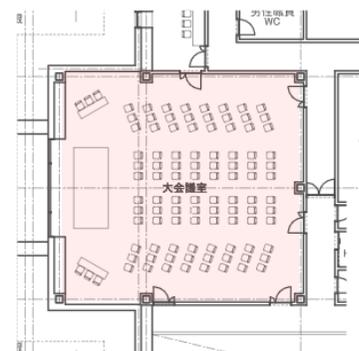
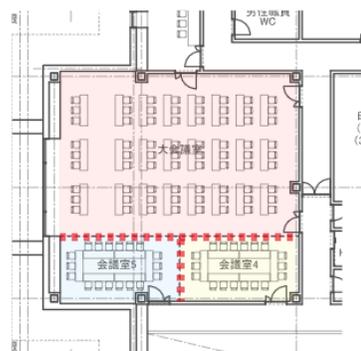
会議室1,2,3を防災広場②でのイベント時の控室として利用



会議室1,2,3の町民利用

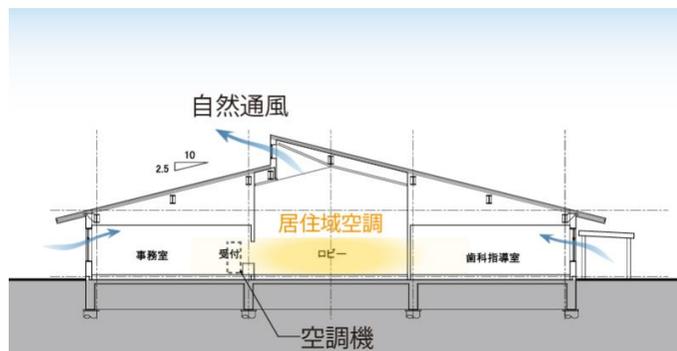
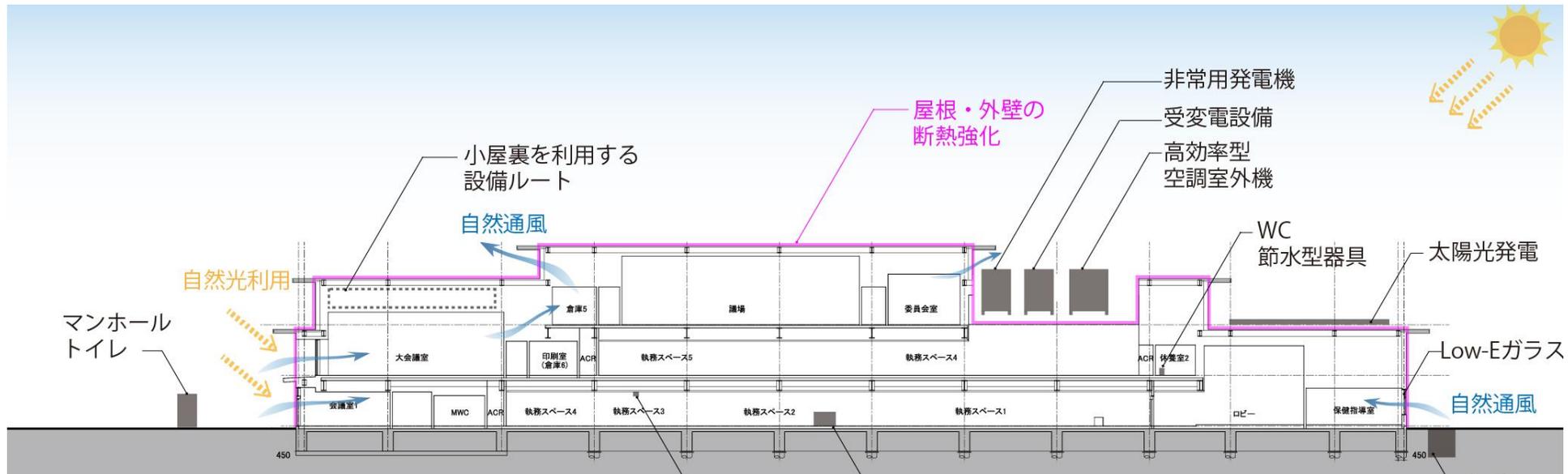
3. 新庁舎コンセプト(建築計画)

ダンス、発表会、式典ができる大会議室の提案

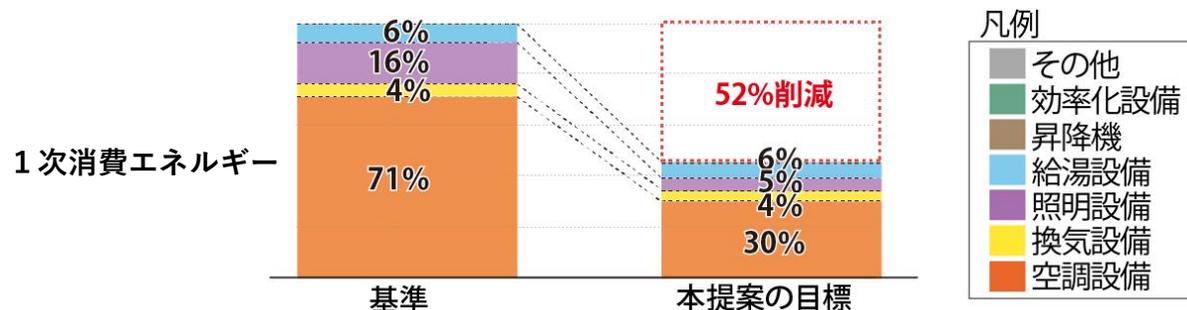


3. 新庁舎コンセプト(ライフサイクルコストの低減)

外皮性能向上・自然エネルギーの活用による省エネ庁舎



環境負荷の低減

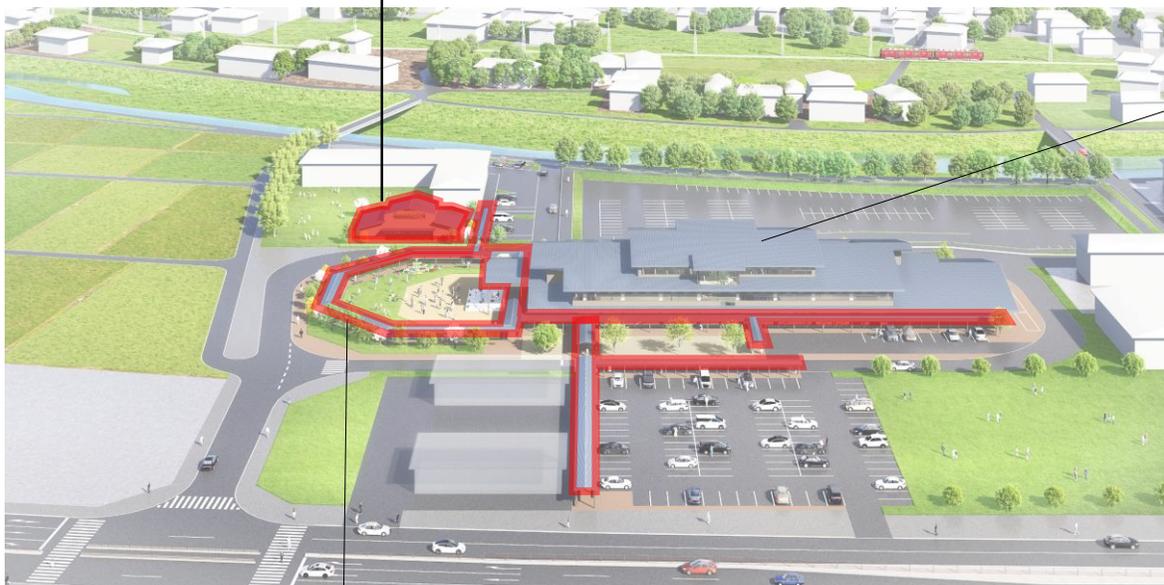


環境配慮技術の採用によるZEBreadyの実現

3. 新庁舎コンセプト(町産木材の活用)

町民が目にする場所、触れる場所に町産木材313m³、約7割使用します

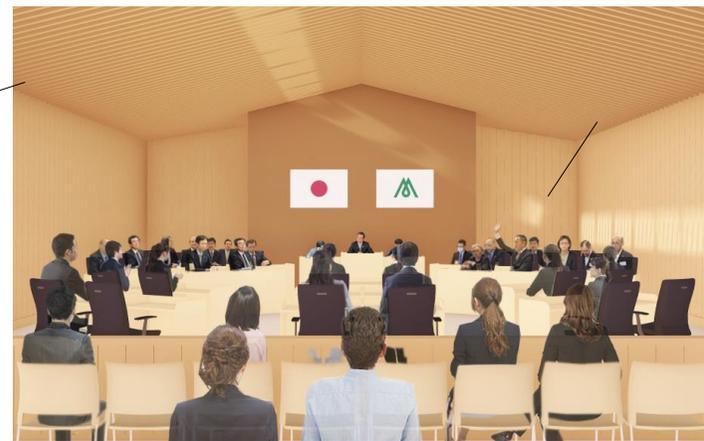
児童館:45m³



回廊・キャノピー:97m³



庁舎内装仕上・家具・造作材:171m³



天井・壁仕上

議場

木ルーバー

仕切り

受付カウンター



町民ロビー

3. 新庁舎コンセプト(任意提案)

新庁舎を核とした地域活性化と賑わい創出を提案

▼基本的な考え方

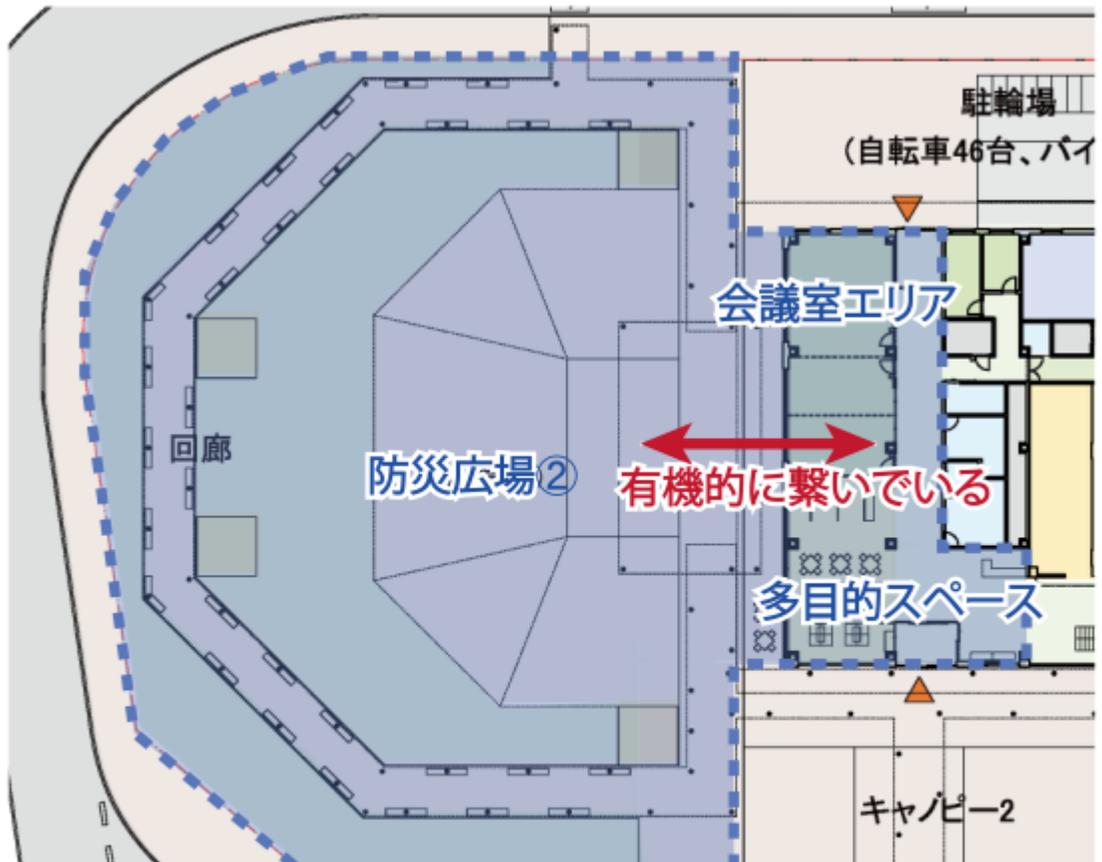
- ・庁舎は行政手続きの場にとどまらず、町民が親しみを持って集い、活用できる「複合交流拠点」としての庁舎整備を目指します
- ・地元商工会や地域団体、地域企業と連携し取り組みます

▼健康増進施設としての廻廊を設置

- ・歩くことで、つながる、元気になる廻廊を設置し、町民が自然と健康になる「歩く仕掛け」を新庁舎に隣接する形で計画
(1周150mの回遊路を整備)
- ・廻廊に屋根を設けることで、雨天時でも駐車場からも庁舎からも雨に濡れることなくウォーキングが可能
- ・広場にステージと大屋根を設けることでマルシェや地域イベントを開催できる

▼日常と災害という2つのフェーズを分断せず「ひととまち」をつなぎます

- ・備えながら使い、使いながら備える「フェーズフリー」の思想を庁舎設計に反映します
- ・地域の賑わいと安全安心を両立する拠点としての庁舎を目指します



平時は広場や会議室、多目的スペースとして使用。有事は、会議室や多目的スペースを避難場所や災害物資の集荷場所等で利用できるよう防災広場と有機的に繋いだ計画にしています。

4. イメージパース絵

外観透視図(アイレベル)



駐車場のキャノピーから庁舎を眺める

4. イメージパース絵

外観透視図(アイレベル)



南西から庁舎を眺める

4. イメージパース絵

外観透視図(アイレベル)



防災広場②の回廊から庁舎、ステージを眺める

4. イメージパース絵

内観(1階多目的スペース)



南西エントランスから多目的スペース、総合案内を眺める

4. イメージパース絵

内観(1階ロビー)



南西エントランスから町民ロビー、執務スペースを見返す

4. イメージパース絵

内観(2階ロビー)



2階から町民ロビー、執務スペースを眺める

4. イメージパース絵

内観(大会議室)



大会議室の利用状況

内観(議場)



内壁に町産木材を使用した議場

4. イメージパース絵

外観透視図(鳥瞰)



※議場を2階東側に配置し、2階建てとした場合

4. イメージパース絵

外観透視図(アイレベル)



※議場を2階東側に配置し、2階建てとした場合

5. 図面

庁舎1階平面図

